

いよいよ解散総選挙 (2月8日投開票)

国民の厳しい審判を下そう

行き詰った政治の打開 日本共産党の躍進で

高市首相は、通常国会冒頭、23日に衆議院を解散し、総選挙に打って出ました。なぜ突然の解散・総選挙に踏み切ろうとしたのでしょうか。うわべの支持率だけを頼みに解散・総選挙に出て、政治の行き詰まりを打開しようとしても、そうはいきません。主権者・国民の厳しい審判を下そうではありませんか。

内政外交行き詰まり

政治とカネまみれ

強引な政権運営をすすめる高市首相ですが、それは決して、この政権の強さを表すものではありません。内閣支持率こそ高いが、ひと皮めくれば、内政も外交も行き

もとむら伸子 53現

衆院議員4期 党幹部会委員



すやま初美 47新

愛知県副委員長

ジェンダー平等委員会責任者



うのが真相です。

最賃1500円放棄

台湾発言撤回せず

内政では、「強い経済」を掲げながら、暮らしを「強く」するどころか、最低賃金1500円の目標も投げ出し、労働時間規制緩和、社会保障改悪など、さらに暮らしを追い詰める政策を強行しようとしています。

外交では、自らの「台湾発言」で極度に悪化した日中関係を打開する展望が全くなく、経済界からも高市首相の発言に厳しい批判の声があがっています。また米国防ランブ政権の無法な「力の支配」を何一つ批判できません。

そのうえ、高市首相自身の違法献金をはじめとする「政治とカネ」の問題、統一協会との癒着という重大問題が浮上し、自民党への厳しい批判が広がっています。

これに対して、日本共産党は、東海比例ブロックに、現職のもとむら伸子、新人のすやま初美両氏



愛知9区予定候補 伊藤恵子
元津島市議6期

が立候補予定です。また小選挙区の愛知9区（稲沢など尾張南西部）には、元津島市議の伊藤恵子氏が立候補を予定しています。

総選挙の争点

くらし優先の政治に

選挙の争点は、第一に、「財界・大企業の利益最優先」の政治に切り込み、国民が安心して暮らせる社会をつくる政治への転換です。第二に、「こんなアメリカいなりをいつまで続けるのか」を厳しく問い、憲法9条にもとづく外交の力で平和をつくる日本共産党

稲沢市次年度予算

会派別説明会開く

稲沢市の令和8年（2026年）度予算の会派別説明会が1月15日日本共産党に示されました。予算額等は概算で未確定のため、追加・変更もあります。

一般会計の総額は570億円程度で今年度（補正含めると617億円）よりは減少。新規事業は、市民病院あり方検討事業、旅券発行事業、子ども食堂補助、保育教

の対案を大いに訴えます。米国防ランブ政権はベネズエラ侵略をはじめ、国連憲章・国際法などお構いなし、そんなトランプ大統領に付き従う高市政権・自民党政治を終わらせましょう。

日本共産党の議席は、暮らしも平和もこわす暴走政治を止め、希望もてる新しい政治をつくる確かな力です。日本共産党の議席の値打ち、かけがえのない役割に確信をもって、選挙をたたかいます。

材補助などです。また小中学校給食無料化や修学旅行の就学援助拡充、稲沢東・下津・小正・祖父江・長岡・六輪小の体育館空調設計も提案されました。

コミュニティバスは下津大里線が名鉄大里駅まで延長。各校2名の中学生の広島平和体験事業も今年8月に予定されます。一方で国府宮駅前開発も継続します。

